

## インターネット入力

最近行われた政府の国勢調査や、毎年度末に行われている確定申告等、政府の行うインターネット入力は、**入力項目が未整理なため、煩雑すぎてさっぱり分からない**。政府にも、言いたいことが、たくさんあるだろうことは、分からないでもない。しかしその言いたいことと言ったら、まるで際限が無い。さらに本来の目的である、**入力することと広報とは、別個に扱うべきだ**ということ、どうして理解できないのだろうか。その上しばしば同じことを指す言葉が、異なった言葉に置き換わっている。我々のような広告畑の出身者には、まったく理解に苦しむ内容である。何人かの担当者がいて、打ち合わせが出来ていないばかりか、そこにはお役所の業者への**マル投げ体質**が垣間見えている。役人は総合的に管理していないのである。

我々が新入社員の頃に教えられた物事の伝達テクニックは、一度にいろいろなことを訴求しないこと、そして出来るだけ簡便に伝えること、さらには面白く伝えることなどであった。ところが政府のホームページは、何がなんだかさっぱり分からない。句読点のついていない文章を読むがごときものである。しかもいわゆるコンピュータの専門用語をそのまま使っているから、まるでカタカナ混じり文である。確かにコンピュータ用語は日本語になりにくいものが多すぎる。しかしこれを入力者に分かるように伝達することを、日本政府自身が目ざさなければ、お役所のインターネット入力は、一向に進まないだろう。文書をドキュメントなどと格好つけて言う必要はまったく無い。少なくとも( )内に文章と入れるべきであろう。70代の人間が見たら、それだけでギブアップである。

★ ★ ★ ★ ★

先日の国勢調査のインターネット入力では、最後まで入力して行ったら**現在のパスワードは利用できない**というコメントが出てきた。現在のパスワードって何よ?。小生は**インターネットの利用者情報**なる書類から『**初期パスワード**』と記憶していたが、パソコン画面では初期パスワードという言葉は出て来なかった。入力用のプログラムを作った人間と、印刷物を作った人間が異なっており、この間で何も打ち合わせがなされずに進行して来たのだろう。送られて来た印刷物には『**初期パスワード**』と記されているにもかかわらず、パソコン画面では『**現在のパスワード**』に置き換わっていたのである。小生は現在のパスワードが意味することは勿論分かっていたが、初めてインターネット入力する人間は、ここでまごつくことだろう。そこで、国勢調査コールセンターに厳重に注意した。すると、先方は説明書に書いてあると居直った。そこに書いてあるのは『**回答データを保護するため新しいパスワードを、設定してから送信ボタンを押してください**』とは書いてあるものの、初期パスワードのことも、現在のパスワードとの関係も全く記されていなかった。いやその隣の囲みの中には、何やらパスワードの注意が

記されているようだが、残念ながら小生の目では虫眼鏡で相当に拡大しても、何が書いてあるか分からない。つまり政府は高齢者、高齢者と叫びながら、**高齢者に対する注意事項**はまったく見殺しにしているのが現状なのである。

★ ★ ★ ★ ★

小生はその昔、確定申告もインターネットで行ったことがあったが、これも分かり難い代物で、税務署の人間まで、『**いずれもう少し分かりやすいものいたします**』と言っていたほどだった。しかしその後、年金生活の人間は確定申告不要となったのでやめることにした。多少の還付金が入ることは分かっていたが、これに費やす労力が、はっきり言ってもったいない。そんな代物だったのである。そして多分国民背番号も似たり寄ったりであろうと思っている。**今回のパスワードと国民背番号のパスワード**を同一にすることであれば、今回何としても新しいパスワードを作って、入力したかもしれない。しかし縦割り政府にはそのような深慮遠謀はない。政府の幹部は、はっきり言ってコンピュータに詳しい人はいない。現在の50歳代程度では、若い時代に今ほどスマホやパソコンは普及していなかった。当時はむしろ諸般の事情で、国家公務員を諦めたか、そのつもりもなかった師弟が、新分野での活躍を目指してコンピュータ学校に通い始めた。高級官僚になるような金持ちの子弟は、当時コンピュータなるものを見下していたようにも見える。政府はしきりに事務の簡素化を目指してインターネット入力にシフトしようとしているようだが、こんなようではお先真っ暗だろう。プログラムの作り方が悪いのかも知れないが、ソフトの製作者と、確定申告の入力者、さらに政府との間には、相当に大きな乖離がある。ソフトの製作者は若い人が多く、確定申告などとは無縁だろうし、政府はこのシステムにより入力の利便性を優先させることよりも、国民が持つ情報のすべてを、国民自らにコンピュータ入力させて、事務を簡素化させることにのみ腐心している。だから入力者の立場に立って、工夫することはしない。出来上がった入力方法が、ややこしかろうと煩雑であろうと、その場がしのげれば、数年で他のセクションに異動する役人にとっては、あずかり知らぬことなのである。このために業者が作ったプログラムをそのままノーチェックでインターネット上に公開されているのが現状と思われるのではない。

★ ★ ★ ★ ★

最近のメーカー等のホームページを見るとレイアウトが出来ていない。余白なしに、やたらと詰め込むことしか考えていないように見える。伝達すべきことと、この他の広告類が一緒だと、**どれが『具』で、どれが『汁』なのか理解できなくなる**。言ってみればクソもミソも一緒なのである。そんなホームページの連続だから、最近ではメーカーやサービス業のホームページは、余程のことがないと読まないことにしている。かろうじて資料収集に役に立つのは、一定の形式に従って入力されている **Wikipedia** だけであろう。

もう一つインターネット入力で厄介なのは、それぞれパスワードを入力しなければならない点である。銀行の暗証番号と異なり、ネットのパスワードは、たとえば A 社と B 社では作り方が異なる。6桁の数字と3文字のアルファベットでパスワードを作れとか、8桁の数字を入れろとか、そのたびに指示に従ったパスワードを作る必要がある。つまり一回パスワードを入力したら、その文字を必ずどこかに保存しておかなければ、もうそのホームページで注文等をするのは困難になる。しかもこんな会社が30社も出来たら、もはや管理することは不可能に近い。みんなパソコン画面のどこかに暗証番号の一覧表なるファイルを作って、ここに記憶させているようだが、小生の年になるとそんな面倒なことまでして、パソコンで注文しようとは思わない。しかもこんなことをやる人間は、余程パソコン慣れしている人間であり、国民すべてにこの手法を押し付けることに、現在ではそもそも無理がある。

★ ★ ★ ★ ★

パソコンは最早一頃の勢いは無い。スマートフォンで十分であるからだ。小生は早晚マイクロソフトは解体されるような気がしている。あまりにも操作方法が面倒だからである。しかも新機種が登場するたびに操作性が悪化する。XPのウィルス排除をマイクロソフトが終了したのは、そうしないと新機種が売れないからだろう。パソコンの問題はこの暗証番号だけではない。そもそも日本語のまったく分からない人種が作ったものであるから、WORDなるものは日本語とは程遠い。昔使っていた『一太郎』には遠く及ばない。しかもマイクロソフトの新しいソフトに進化は無い。全く違う人が違う考えで製作しているかららしい。このために小生は今でもXPを使用している。ところがこれで国勢調査の入力をしたら、『このソフトでは入力できない』と出てきた。しかしこれは余計なお世話だ。政府が新しい機種を購入するように迫っているような気がしてくる。そもそも国勢調査で入力する小生の情報が、他人に盗まれてもたいした問題でないと思っている。だから暗証番号そのものですら小生には不要だと考えている。情報が漏れて困る人だけが暗証番号を入力すればいい。若い先短い小生にとっては、**墓場が先か、情報漏洩が先か**、その程度の問題である。

★ ★ ★ ★ ★

だから現在のパスワードが使えないとか、情報の漏洩がどうか言う前に早く入力を終了したい。しかしそれは叶わなかったので入力はヤメにした。パソコン入力しないと後日、訪問員が来てペーパーに手入力する必要があるという。しかし小生はそれも拒否することにした。政府のインターネット入力に対して、強い不快感を表し、抗議するためである。『No』といえる日本人の立場を貫きたいと思っているからである。きっと訪問員の方は小生の説得に当たらなければならないだろうが、ここで人情を示せば強く抗議すること自体が消滅するし、税金の無駄使いを指摘する事も出来なくなる。こういう時代がこれ以上続いてはならない、という信念からである。しかしこれは法律に触れるらしい。ご担当の方も迷惑千万だろう。さてどうしたものか。